

## 4 糖尿病

### 【現状と課題】

#### (1) 糖尿病の状況

- 客体数が少ないため参考値としかありませんが、平成 28(2016)年県民健康づくり調査による本県の糖尿病有病者と予備群の割合は、40～74 歳の男性ではそれぞれ 21.3%、8.2%、同じく女性では 8.5%、12.3%となっており、前回調査より男性女性とも増加傾向にあります。
- 平成 28(2016)年県民健康づくり調査によると、糖尿病と言われたことがある者のうち、現在治療を受けている人は 75%となっており、未受診者に対する対策が課題となっています。
- 糖尿病による人工透析の新規導入患者数は、(社)日本透析医学会のデータによると、平成 27(2015)年度は 736 人(平成 22(2010)年度：731 人)とほぼ横ばいとなっており、新たな透析患者とならないようにする重症化予防の取り組みが課題となります。

#### (2) 予防の状況

- 生活習慣病の発症予防を目的に実施している特定健診の本県における実施率(平成 27(2015)年度厚生労働省保険局データ)は 45.3%であり、全国平均(50.1%)と比べ低くなっており、実施率向上が課題となっています。また、特定保健指導の本県における実施率(平成 27(2015)年度厚生労働省保険局データ)は 19.7%であり、全国平均(17.5%)を上回っていますが、保健指導実施率の更なる向上に向けて、保健指導者育成の研修を行うなど、保険者に対する支援が必要です。
- 高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率(人口 10 万対)は、297.4 であり、全国の 262.2 と比べ高くなっています。また、本県の脂質異常症患者の年齢調整外来受療率(人口 10 万対)は 69.8(全国 67.5)、糖尿病患者の年齢調整外来受療率(人口 10 万対)は 101.8(全国 98.6)と、全国に比べどちらも高くなっています。
- 厚生労働省保険局データ(平成 27(2015)年度)による本県のメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合は 26.6%で、全国平均(26.2%)よりも多くなっています。また性別の割合は、男性では 38.6%、女性では 11.3%となっており、特に 40 歳から 59 歳の男性の割合が全国より 1%多く、働き盛り世代の男性に対する対策が重要となります。

#### (3) 医療従事者等の状況

- 県内の日本糖尿病学会認定の糖尿病専門医は県内に 272 人(平成 28(2016)年 10

月 24 日現在) で、全国平均(112.1 人)より多く、人口 10 万対でも同様です。〔表 3-15〕

- 県内に日本糖尿病学会が認定する認定教育施設は 12 ヶ所あり、全国平均 (3.8 ヶ所) より多くなっています。〔表 3-15〕
- 県内に歯周病専門医の在籍する歯科医療機関は 46 ヶ所あり、全国平均 (17 ヶ所) より多くなっています。
- 県内に糖尿病内科を標榜する一般診療所数は 21 ヶ所、病院は 72 ヶ所あり、どちらも全国平均 (一般診療所 9.1 ヶ所、病院 24.4 ヶ所) より多くなっていますが、田川医療圏はいずれの医療機関もない医療圏となっています。
- SCR<sup>13</sup>では、糖尿病患者全体においても II 型糖尿病<sup>14</sup>においても、入院、外来どちらもほぼ全地域でレセプト出現比が全国並みか全国平均を上回っていますが、II 型糖尿病においては、田川医療圏では入院がやや下回ってる状況です。

◆ 日本糖尿病学会が認定する糖尿病専門医及び認定教育施設の数〔表 3-15〕

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
糖尿病専門医の数	139	8	3	15	1	29	2	6	10	4	3	59	4
認定教育施設の数	21	2	0	2	0	4	0	0	2	0	0	15	1

厚生労働省「医療計画作成支援データブック【平成 28(2016)年度版】」及び日本糖尿病学会専門医検索 (<http://www.jds.or.jp/modules/senmoni/>)、日本糖尿病学会認定教育施設検索 (<http://www.jds.or.jp/modules/shisetsu/>) より引用。

- 糖尿病網膜症手術や糖尿病性腎症に対する人工透析が行える医療機関及びそのレセプト件数は、二次保健医療圏每では福岡・糸島及び北九州に集中しています。〔表 3-16〕〔表 3-17〕

◆ 糖尿病網膜症手術の実施について〔表 3-16〕

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	福岡県平均
実施件数 (医療機関数)	82	12	7	16	5	27	7	9	8	8	6	74	6	20.5
実施件数 (レセプト件数)	1,933	90	99	205	22	566	158	147	215	72	82	1,458	85	394.8

厚生労働省「医療計画作成支援データブック【平成 28(2016)年度版】」National Database (平成 27(2015)年度の診療分) から引用。

<sup>13</sup> SCR : SCR (Standardized Claimdata Ratio) とは、性・年齢調整標準化レセプト出現比のことであり、レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの。なお、全国平均と同じ回数の場合の指数は 100 となる。

<sup>14</sup> 糖尿病 : 糖尿病は、インスリン作用の不足による慢性の高血糖状態を主な特徴とする代謝疾患であり、I 型糖尿病と II 型糖尿病に大別される。  
I 型糖尿病は、インスリンを合成・分泌する細胞の破壊・消失によるインスリン作用不足を主要因とするものであり、II 型糖尿病はインスリン分泌低下・抵抗性等をきたす遺伝因子に、過食、運動不足、肥満などの環境因子及び加齢が加わり発症するものである。

◆ 糖尿病性腎症に対する人工透析の実施について〔表 3-17〕

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	福岡県平均
実施件数 (医療機関数)	55	15	6	12	4	22	6	11	7	4	4	49	5	15.4
実施件数 (ベッド件数)	20,538	3,820	2,265	4,602	1,522	8,291	2,634	3,703	3,162	2,416	1,777	18,489	2,492	5823.9

厚生労働省「医療計画作成支援データブック【平成 28(2016)年度版】」National Database（平成 27(2015)年度の診療分）から引用。

- 二次保健医療圏ごとの糖尿病の自己完結率は約 67～97%となっています。自己完結率の低い医療圏では近隣の医療圏で補完されている状況です。〔表 3-18〕

◆ 糖尿病患者（主病名）における自己完結率〔表 3-18〕

		医療機関所在地												
		福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
患者所在地	福岡・糸島	94.45%	2.95%		2.12%		0.25%	0.22%						
	粕屋	17.10%	79.19%	1.85%	1.85%									
	宗像	5.05%	25.82%	66.94%									2.19%	
	筑紫	24.92%	1.29%		71.53%	0.77%	1.48%							
	朝倉	1.58%			3.48%	78.04%	16.90%							
	久留米	0.82%			0.91%	3.41%	84.42%	8.22%	2.23%					
	八女・筑後	2.09%					9.54%	87.10%	1.27%					
	有明	0.71%					9.75%	5.26%	83.43%					0.84%
	飯塚									93.52%	4.63%	1.85%		
	直方・鞍手	1.52%								4.98%	85.06%		7.14%	1.30%
	田川									11.88%	4.46%	77.39%	3.30%	2.97%
	北九州	0.46%	0.26%	0.37%							1.18%	0.22%	97.20%	0.31%
	京築												7.00%	93.00%

厚生労働省「医療計画作成支援データブック【平成 28(2016)年度版】」40\_福岡県版二次医療圏別受療動向分析ツール（National Database（平成 27(2015)年度の診療分））（流出：糖尿病患者（主病名）：全年齢：入院）

【医療機能と医療連携】〔図 3-6〕

- かかりつけ医等の初期や安定期に継続的な治療を行う医療機関においては、特定健康診査やその他の健康診査で治療が必要とされた患者に対し、糖負荷検査等により糖尿病の診断と食事、運動等生活習慣改善のための指導を行うとともに、必要に応じ良好な血糖コントロールを目指した治療を行います。血糖コントロールが悪いと歯周病が発症、進行するリスクが高まるほか、重度の歯周病による糖尿病

の悪化を招くこともあることから、その予防・発見のため、歯周病の健診、治療を行います。

- 薬物療法開始後でも、体重の減少や生活習慣の改善により、経口血糖降下薬やインスリン製剤を減量又は中止することができます。医師、管理栄養士、薬剤師、保健師、看護師等の専門職種が連携して、食生活、運動習慣等に関する指導を継続していきます。
- 慢性合併症の検査治療を行う医療機関では、患者の状況に応じ、血糖コントロール等を行うほか、定期的に糖尿病網膜症、糖尿病性腎症等、慢性合併症の検査及び必要に応じ治療を行います。
- II型糖尿病の治療中又は治療歴がある人で、かつ腎障害を有する人に対しては、「福岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、糖尿病性腎症の重症化予防のため、かかりつけ医や専門医と連携した保健指導を行います。
- 通常の治療では血糖コントロールがうまくいかず、インスリン注射の導入や教育入院が必要な場合等は、必要に応じてより専門的な治療を行います。
- これらの連携体制を概ね二次保健医療圏単位で行っていきます。（現状では、二次保健医療圏を超えた連携が必要な場合もあるため、かかりつけ医と専門医で情報を共有するなどの体制整備を行います。）

## 【今後の方向】

### （1）予防

- 啓発イベントや各種研修会の開催を通じて、県民に対し、糖尿病の発症予防に関する知識の普及・啓発を図ります。  
また、特に働き盛りの世代を対象に、企業等と連携して糖尿病の発症予防に関する知識の普及・啓発を図ります。
- 健診、保健指導実施率を向上させ、糖尿病の発症と重症化を予防するために、保健指導者育成の研修など、保険者に対する支援を行います。また、健康増進計画に沿った施策や介護予防事業を推進し、関係団体、市町村と連携した健康づくりを行います。

### （2）初期診療体制の充実

- 健診において治療が必要とされた患者に対し受診勧奨を行い、適切な診断、治療および保健指導ができるよう関係機関による連携を図り、健診後の初期診療体制を充実します。

### (3) かかりつけ医と専門医、合併症治療医との連携促進

- 初期や安定期に継続して治療を行うかかりつけ医等の医療機関において、血糖コントロールがうまくいかず、インスリン注射の導入や教育入院が必要になった場合には、専門的な教育治療を行う糖尿病認定教育施設等の医療機関との連携や糖尿病網膜症や糖尿病性腎症等合併症の検査治療等を行う医療機関との連携を促進します。
- 現状の提供体制の維持・確保を図りつつ、二次保健医療圏ごとに設置された地域医療構想調整会議における医療関係者等の意見や協議を踏まえ、病床の機能分化・連携を推進します。

### (4) 医療機能情報の提供

- ホームページ等により、糖尿病の診療に係る医療機関情報を提供します。

《ふくおか医療情報ネット》 <http://www.fmc.fukuoka.med.or.jp/>

### (5) 重症化予防

- 平成 29(2017)年度に策定した「福岡県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関の未受診者・治療中断者に対する関係機関からの受診勧奨や保健指導によって治療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症等で通院する患者のうち重症化するリスクの高い人を、主治医の判断により保健指導対象者に選定し、専門医療機関との連携を図るなど、適正な医療を提供することで腎不全・人工透析への移行の防止に努めます。

### 【目標の設定】

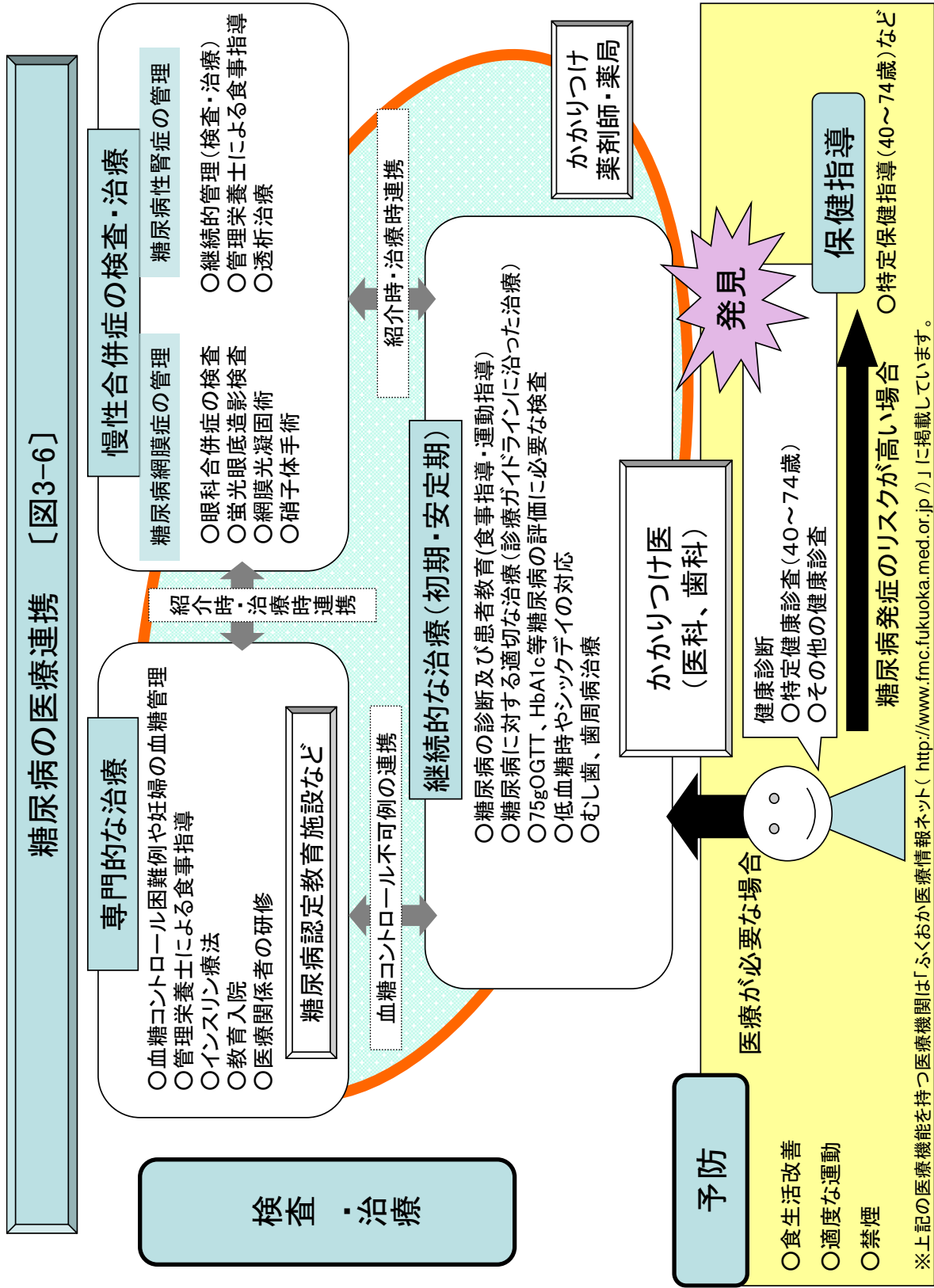
指 標	現 状		目標値 (平成35(2023)年度)
	福岡県	全国	
糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数 ※1	736人	16,072人	670人以下
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率 ※2、※3	13.0	16.4	25%以上
特定健康診査実施率 (%) (40-74歳) ※2	45.3	50.1	70%以上
特定保健指導実施率 (%) (40-74歳) ※2	19.7	17.5	45%以上

※1 平成 27(2015)年度(社)日本透析医学会のデータ

※2 平成 27(2015)年度厚生労働省保険局データ

※3 平成 20(2008)年度と比べた、平成 35(2023)年度の時点でのメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(特定保健指導対象者の減少率をいう。)を、25%以上とする。

〔図 3-6〕



(4) 糖尿病

番号	指標名		単位	全国	福岡県	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	調査名等	調査年
	人口		千人	128,226	5,120	1,586	284	156	436	88	463	136	230	187	112	133	1,117	191	住民基本台帳	H27.1.1
				127,907	5,126	1,615	288	159	439	87	462	134	224	184	110	130	1,104	190	住民基本台帳	H29.1.1
D-1	糖尿病内科(代謝内科)の医師数		人		234	117	4	2	9	2	24	4	5	7	1		53	6	医師・歯科医師・薬剤師調査(計画支援DBH28)	H26
			人口10万対		4.6	7.4	1.4	1.3	2.1	2.3	5.2	2.9	2.1	3.7	0.9		4.7	3.1		
D-2	糖尿病内科(代謝内科)を標榜する医療機関数(一般診療所)		施設	401	21	9	1	1	1		3						4	2	医療施設調査(調査解析)(計画支援DBH28)	H26
			人口10万対	0.3	0.4	0.6	0.4	0.6	0.2		0.6						0.4	1.0		
D-3	糖尿病内科(代謝内科)を標榜する医療機関数(病院)		施設	1149	72	24	5	3	5	2	10	3	4	1	4		10	1	医療施設調査(調査解析)(計画支援DBH28)	H26
			人口10万対	0.9	1.4	1.5	1.8	1.9	1.2	2.3	2.2	2.2	1.7	0.5	3.5		0.9	0.5		
D-4	健康診断・健康検査の受診率	受診率	%	66.2	63.5	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	国民生活基礎調査(計画支援DBH28)	H25
C-5	特定健診実施率		%	50.1	45.3	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	特定健診受診率・保健指導実施率(厚生労働省保険局データ)	H27
C-6	特定保健指導実施率		%	17.5	19.7	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
D-7	年齢調整死亡率	男性	人口10万対	5.5	6.7	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	都道府県別年齢調整死亡率(業務・加工統計)	H27
D-8		女性	人口10万対	2.5	2.5	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*		
D-9	退院患者平均在院日数		日	35.5	66.6	28.2	49.9	72.4	55.7	18.7	22.7	28.7	19.7	76.3	81.8	24.0	93.6	30.9	患者調査(計画支援DBH28)	H26
D-10	糖尿病による人工透析の新規導入患者数		人		736	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	日本透析医学会データ	H27
D-11	新規人工透析導入患者数	実施医療機関数	施設		144	38	11	3	8	*	17	5	9	6	4	4	34	5	NDB(計画支援DBH28)	H27
		実施算定回数	回		8,601	2318	474	416	614	174	756	183	376	427	174	310	2042	337		
		実施レセプト件数	件		1,585	397	86	85	108	28	149	34	66	78	35	63	389	67		
		実施件数(人口10万人あたり)	人口10万人対		31.0	25.0	30.3	54.5	24.8	31.8	32.2	25.0	28.7	41.8	31.1	47.3	34.8	35.0		

(4) 糖尿病

番号	指標名	単位	全国	福岡県	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築	調査名等	調査年	
	人口	千人	128,226 127,907	5,120 5,126	1,586 1,615	284 288	156 159	436 439	88 87	463 462	136 134	230 224	187 184	112 110	133 130	1,117 1,104	191 190	住民基本台帳 住民基本台帳	H27.1.1 H29.1.1	
D-12	糖尿病性腎症に対する人工透析実施件数	実施医療機関数	施設	-	200	55	15	6	12	4	22	6	11	7	4	4	49	5	NDB (計画支援 DBH28)	H27
		実施算定回数	回	-	880,631	239,051	44,395	25,909	53,871	17,830	96,707	31,172	43,368	36,486	29,232	21,097	212,835	28,678		
		実施レセプト件数	件	-	75,711	20,538	3,820	2,265	4,602	1,522	8,291	2,634	3,703	3,162	2,416	1,777	18,489	2,492		
		実施件数(人口10万人あたり)	人口 10万人対	-	1478.7	1294.6	1345.1	1452.9	1055.7	1727.3	1789.2	1933.6	1609.6	1695.4	2149.1	1334.0	1655.8	1301.9		
D-13	糖尿病足病変に関する指導を実施する医療機関数	施設	-	90	33	2	1	3	0	6	3	5	4	2	1	29	1	診療報酬 施設基準 (計画支援 DBH28)	H28.3	
		人口 10万人対	-	1.8	2.1	0.7	0.6	0.7	0.0	1.3	2.2	2.2	2.2	1.8	0.8	2.6	0.5			
D-14	糖尿病足病変に対する管理	実施医療機関数	施設	-	69	29	*	*	3	0	6	3	5	4	0	*	19	*	NDB (計画支援 DBH28)	H27
		実施算定回数	回	-	8,798	3,683	48	104	200	0	2,245	157	421	168	0	*	1,772	*		
		実施レセプト件数	件	-	8,798	3,683	48	104	200	0	2,245	157	421	168	0	*	1,772	*		
		実施件数(人口10万人あたり)	人口 10万人対	-	171.8	232.2	16.9	66.7	45.9	0.0	484.5	115.3	183.0	90.1	0.0	*	158.7	*		
D-15	糖尿病網膜症手術数	実施医療機関数	施設	-	267	82	12	7	16	5	27	7	9	8	8	6	74	6	NDB (計画支援 DBH28)	H27
		実施算定回数	回	-	6,625	2,470	121	125	262	30	727	202	194	270	102	112	1,894	116		
		実施レセプト件数	件	-	5,132	1,933	90	99	205	22	566	158	147	215	72	82	1,458	85		
		実施件数(人口10万人あたり)	人口 10万人対	-	100.2	121.8	31.7	63.5	47.0	25.0	122.1	116.0	63.9	115.3	64.0	61.6	130.6	44.4		
D-16	糖尿病専門医の数	人	-	283	139	8	3	15	1	29	2	6	10	4	3	59	4	日本糖尿病学会 認定専門医	H29.10.25	
D-17	認定教育施設の数	施設	-	47	21	2	0	2	0	4	0	0	2	0	0	15	1	日本糖尿病学会 認定教育施設	H29.10.25	
D-18	糖尿病有病者の割合	男性 (40~74歳)	%	-	21.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	県民健康づくり 調査	H28	
D-19		女性 (40~74歳)	%	-	8.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
D-20	糖尿病予備群の割合	男性 (40~74歳)	%	-	8.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	県民健康づくり 調査	H28	
D-21		女性 (40~74歳)	%	-	12.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			